

総務経済常任委員会
見て・聴いて・考えた



聴く 動く 常任委員会

“よりいいまち”へ

視察レポート



文教厚生常任委員会
見て・聴いて・考えた



先進地から学ぶ



町議会HP
委員会構成

寄居駅周辺整備

1月31日 山梨県身延町

町の玄関口として整備 身延駅前しょうにん通り

身延駅前地区は、鉄道開通以来、身延山久遠寺の表玄関として栄えてきたが、鉄道離れや道路・駐車場等の整備の遅れから商店街の衰退が顕著となっていた。



和瓦や家紋を取り入れた建物が並ぶ

沿道区画整理型街路事業（沿区事業）の提案に、住民・商店街との協議を重ねながら、昭和63年11月に都市計画決定し、平成2年度に事業着手、13年度に完了した。

身延町の取り組み、ポイントはココ

- 町の玄関口にふさわしく「町をそっくり創りかえる」
- 歴史や風土に根ざした「和の街づくり」を目指す
- 「建築申し合わせ協定」を全戸の同意で締結

視察を終えて

- ・「住民主体のまちづくり」を強く感じた。地元の熱意がどれほどか町を動かすことにつながると思う。
- ・まちづくりのコンセプトは参考になる。よいところは取り入れたい。
- ・地域住民がどう土地利用を考えるかが一番大事だと感じた。

防災・減災（自主防災組織と地域コミュニティ）

2月1日 静岡県富士市（富士駅南地区）

自主防災組織結成率 99% 行政と地元が連携



富士市防災庁舎と
地域防災指導委員会の高澤会長

富士市の防災・減災対策は、巨大地震・津波対策を根幹とし、火山対策、風水害対策、土砂災害なども想定している。防災に対する市民の意識は高く、自主防災組織の結成率は99%。41名の地域防災指導員を委嘱し、自主防災組織への訓練のアドバイスや支援を行い、地域防災力の向上を図る制度も設けている。

富士市の取り組み、ポイントはココ

- 防災対策の基本方針は「**地元へ合う防災**」
- 「**防災は究極のまちづくり**」の考えからまちづくり協議会が独自に防災部会を設置
- 企業・団体との連携推進**

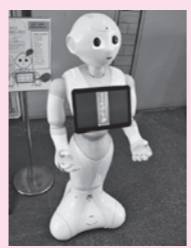
視察を終えて

- ・小学校から防災教育を進めている。リーダーを育てるコミュニティ活動の大切さを感じた。また、行政が地域の力をうまく引き出している。
- ・寄居町も同様の組織はあるが、訓練方法が分からず、人も集まらない。多くの年代へ呼びかけが広がるよう考えたい。
- ・寄居町は安全の意識を変えて防災に取り組みたい。視察地では、訓練の内容を年度ごとに変えて研究していた。また、コミュニティとして地域が一つになるよう取り組みたい。

スポーツ振興（生涯スポーツ、健康づくり）

2月2日 静岡県藤枝市

健康・予防日本一 ふじえだプロジェクト



市役所で健康マイレージをPRする
人型ロボット

藤枝市に、従来の健康づくりを進める「守る健康」と、新たな健康施策により健康づくりを進める「創る健康」がある。「守る健康」では、約100人の保健委員の活動が特定健康診査受診率の高さに結びついている。「創る健康」は、無関心な人々への動機づけを一番の課題と考え「楽しい」「お得」という切り口で3つのプロジェクトができた。

藤枝市の取り組み、ポイントはココ

- 「**日本全国バーチャルの旅**」飽きずに何度も歩けるよう、散歩により旅行を疑似体験
- 「**健康スポット20選**」健康づくりウォーキングコースのマップ作成とイベント開催
- 「**健康マイレージ**」運動や食事など日々の行動や健康診断の受診等でポイントを貯め、市内や県でサービスが受けられる

視察を終えて

- ・市を挙げて健康プロジェクト計画を実施。プロジェクトには職員提案を取り入れる前向きな市の姿勢がある。
- ・楽しみながら目標を持って歩く、イベントと健康ウォーキングを組み合わせるアイデアは、寄居町でも取り入れたい。
- ・成人病の予防として、30代・40代に向けて力を入れることが肝心と感じた。

小中一貫教育

2月3日 静岡県浜松市

“学び”と“育ち”をつなぐ 9年間の一貫教育

浜松市では、小中一貫教育が平成23年度に策定した「第2次浜松市教育総合計画」に定められている。また、小中一貫校は、施設一体型の学校の先進的なモデル校と位置づけられ、9年間の学びと育ちをつなぐ教育という意識変革に重点が置かれている。



3校目の新築工事現場

市内には、施設一体型小中一貫校が2校あり、4月にはさらに1校が開校する。

浜松市の取り組み、ポイントはココ

- 9年間を見通して、発達段階を見ながら**きめ細やかな指導ができ、中学進学後も知っている先生がいる安心感がある
- 体育館が1棟のため、**小・中学校が綿密に連携**をとらなければならない
- 地域への説明、保護者準備会のほか設置条例や規則改正等の**法整備も必要**

視察を終えて

- ・地域の理解を得るには、具体的な方針を保護者に伝えていく必要がある。
- ・浜松市では一貫教育を体系的に進めている。寄居町でも早く基本方針をつくり、地域の要望を受けとめたい。
- ・小中一貫教育には、よりよい教育環境をつくるメリットがあることを実感した。

議会広報誌の編集・発行、その他議会の広報・広聴

- 議会だより83号編集・発行
- 「議会だより編集」について視察来町



1/20 福島県 田村市議会

田村市の議会だよりでは、寄居町議会だよりのレイアウトを参考に、一般質問を横書きに変更しました。また『マチイロ』というスマートフォンで議会だよりを閲覧できるアプリを導入。無料アプリをダウンロードすることで利用できます。
(田村市議会 土屋省一委員長)

『マチイロ』は、さっそく寄居町議会でも検討してみます。
※3月末に導入しました。詳しくは裏表紙へ



第6次 三ヶ山地域 開発調査特別委員会

三ヶ山地域の開発調査

1/23

埼玉県資源循環推進課長から環境整備センター13号埋立地の供用開始について説明を受けました。供用開始予定は平成29年5月下旬、埋め立て工法や予定期間などの質疑がありました。

1/26

千葉市の中田スポーツセンターを視察。中田スポーツセンターは、平成10年3月に埋め立て完了した最終処分場跡地を整備した施設です。埋立面積は約7万2000㎡。管理は、民間事業者に包括的に運営維持管理業務を委託する長期責任委託事業を導入。

2/16

彩の国資源循環工場事業者協議会から資源循環工場の現況と今後の事業計画等について説明を受け、意見交換を行いました。

